※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	理型古典	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選古典探究「古文編」「漢文編」　（東京書籍）						
副教材等	・新訂版常用国語便覧（浜島書店）　・流れと演習　新日本文学史（啓隆社） ・読解のための必修古典文法（文英堂）　・古文単語３１５（桐原書店） ・三訂版　よむナビ古典３　演習編（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
授業の前には、自分で積極的に語句の意味調べや文法事項を確認してから臨むようにしましょう。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記載し、毎回、その日の授業を振り返り、ポイントをまとめ、感想を記入しておきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得るようにする。文章の表現技法について理解し，込められた心情とともに説明する力をはぐくむ。	現代語訳する際、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をし、登場人物やエピソードの現代との共通性を理解し，根拠とともに説明することができるようにする。また、登場人物の生き方や思考について考え，それに対する自分の意見を表現する力を身に付けられるようにする。	それぞれの話の共通性を踏まえ、作者の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めることができるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	Ⅱ部　古文編・説話 ［教材］ 宇治拾遺物語 「伴大納言、応天門を焼くこと」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	Ⅱ部　古文編・日記文学 ［教材］ 紫式部日記 「日本紀の御局」	a:女房文学で特徴的な「かな日記文学」について、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで文語の決まりについて正確に理解し，学習課題に沿って作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。また、文学史における女流日記文学の位置づけについて理解し，作者の置かれた境遇や心情について読み取ろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	Ⅱ部　古文編・評論 ［教材］ 無名抄(鴨長明)	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:中世評論の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:進んでの特徴や中世における和歌について考え方やその効用について理解し，学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	Ⅱ部　古文編・作り物語 ［教材］落窪物語	a:古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:進んで王朝文学の作り物語の特徴について整理・理解し，古文の窓9・10 を参考にして、作り物語に関する理解を深め、当時の貴族たちに広まった理由について自らの考えを深めようとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	Ⅰ部　漢文編　小話 ［教材］ 小話　先従隗始	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:進んで漢文の読み方を確認し，学習課題に沿って，故事成語の果たす役割について考えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	漢文編・詩 ［教材］ 近体詩　登鸛鵲楼	a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：進んでさまざまな唐詩を読み味わい，学習課題に沿って，言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	Ⅱ部　古文編・作り物語2 ［教材］ 源氏物語 「須磨の秋」	a：古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化における和歌の重要性について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結びつけ，考えを広げたり深めたりしている c：進んで作者の人の心情の捉え方や表現力、「もののあはれ」という語に代表される生き方・感性・価値観について理解し，作者の価値観が現代でも多くの人に共感を持って受け取られており、源氏物語が千年もの長き間読まれていることについて考察し，各自の学習の取り組みによって平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	Ⅱ部　古文編・歴史物語 ［教材］大鏡 「三船の才」	：古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し，学習課題に沿って内容について意見を述べ合い，自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	Ⅱ部　古文編・近世の小説 ［教材］雨月物語 「浅茅が宿」	a：今までに学んだことを活かして、辞書等を活用して、自分で読解をすすめているか。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し，学習課題に沿って内容について意見を述べ合い，自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間